

学会大会案内

10月25日（金）・26日（土）

自由報告セッション

【1日目】

セッションⅠ 歴史的に社会の実相に迫る

座長 宇佐美 繁

宇都宮大学

①大越 良裕

村落社会と講組織

東北大学院

--19世紀初頭を中心として--

②武田 共治

封建勢力と農本主義運動

弘前大学

--庄内山居倉庫を事例として--

③菅野 仁

農本主義と産業組合運動

青森公立大学

--山形県庄内地方を事例として--

④長谷部 弘

庄内地方財閥風間家の地主経営

東北大学

セッションⅡ 地域の集団活動を考える

座長 小林 月子

岐阜大学

⑤水上 英徳

農業生産組織の存続と個別経営農家のゆくえ

東北大学

--宮城県鹿島台町山船越地区の事例--

⑥小林 浩樹

過疎地域活性化のための集団活動

明治大学院

セッションⅢ 理論的に農家・農政を位置づける

座長 池本 良教

農政調査委員会

⑦細川 甚孝 新国際分業下における日本の農業政策の検討 上智大学院

⑧明石 光一郎 農家の余剰労働力についての諸説整理 農業総合研究所

セッションⅣ アジアの農業・農村を考える

座長 若林 敬子

人口問題研究所

⑨林 在圭 「宜寧南氏忠壮公派」宗族の構造と機能 早稲田大学院

⑩董 永杰 中国国有新華農場における個と集団 東京農業大学院

⑪北原 淳 ポスト緑の革命とアジア農業のゆくえ 神戸大学

セッションⅤ 家族・農村の社会過程を史的にふり返る

座長 福田 はぎの

文教大学

⑫高橋 基泰 日英村落の比較史的分析 --家族構造と世代継承-- 愛媛大学

⑬高田 知和 戦前期における農村産業組合教育と農村青年 早稲田大学

⑭鷹田 和喜三 文学に見る根釧地方の酪農村の前史 釧路公立大学

--早川三代治の「土と人」を通して考える--

セッションVI 農家家族の在り方と継承の条件を検討する

座長 永野 由紀子

愛媛大学

⑮川手 督也

農家家族の変容と家族協定

農業研究センター

--親子契約と家族経営協定のあいだ--

⑯高村 竜平

墓参にみる家と親類

京都大学院

--京都府舞鶴市における沿岸村落の事例から--

⑰泉館 智寛

秋田県果樹地帯における農家継承

いわき明星大学

番外編セッション

⑱スライド上映会 (1日目懇親会の後、任意参加方式)

大友由紀子

世界農村社会学会

十文字学園女子大学

ルーマニア大会に参加して

[2日目]

セッションVII 産消提携と有機農業の関係を問う

座長 中道 仁美

静修女子大学

⑲波多野 豪

有機農業運動における産消提携の新展開

京都短期大学

--兵庫県南光町と市島町の事例を中心に--

⑳劉 文静

「米産直」における有機農業運動の一考察

東北大学院

--山形県遊佐町の事例研究--

大会テーマ・セッション

セッションⅧ 有機農業運動の可能性と課題 -- 農村の再生、都市との連携

座長 徳野 貞雄

広島県立大学

報告者

保田 茂 有機農業運動の現段階と今後

神戸大学

宇根 豊 脱近代化運動としての有機農業

福岡農業改良普及センター

中島 紀一 有機農産物基準問題と農業戦略論

鯉渕学園

星 寛治 共生社会を拓く有機農業運動

有機農業者

青木 辰司 有機農業運動から見える「いえ」と「むら」 秋田県立農業短期大学
--「村落社会研究」と有機農業運動の接点を求めて--